

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第369回

松本零士

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年9月20日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

どんなに大きな夢でも 恥ずかしがることはない。

松本 零士は、日本の漫画家。本名：松本 晟。代表作に『男おいどん』『宇宙戦艦ヤマト』『銀河鉄道 999』など。福岡県久留米市生まれ。血液型はB型。宝塚大学特任教授、京都産業大学客員教授、デジタルハリウッド大学特任教授を歴任。旭日小綬章、紫綬褒章、フランス芸術文化勲章シュバリエ受章。



Column

言わずと知れた日本のSF漫画界の巨匠である松本零士さんの言葉です。松本さんは多くのファンに愛されている名作を手掛けてきた漫画家です。私はこれまで映画やドラマなどを通じ、フィクションであってもその世界観や物語に自分は魅了されてきましたが、魅了させる側になることは本当に難しいことだと思います。それを可能にするためには、そこに隠されたほんの少しの“リアル”がどれだけ刺さるように表現できるかがカギになるでしょう。私にはそれがクリアされた物語を作る自信も『実はこれは作り話なんですけど…』と前置きしてから表現する自信もありません。正直、挑むことさえ躊躇するような世界です。そこでプロとして生きた松本さんは素晴らしい能力があるのだと改めて感心しました。尚且つ松本さんの描く世界観はSF漫画ですから、かなり現実離れしているということになります。それでも多くの作品で人々を魅了した松本さんの素晴らしさは、ここまで来ると目の前で何度やられてもタネが明かせないマジックのようにさえ感じます。

そんな松本さんの言葉ですから余計に説得力があり、励まされ、背中を押してくれるような気持ちになります。それと同時に松本さんにも“素人時代”というものはあったはずなのですが、とても真似できるレベルではないと感じることから松本さん自身も空想の世界の住人なのではないかと思ってしまいます。しかし、そんな素人時代も確実に存在していて、その時にどれだけ否定されても大きな夢を語っていたのだらうと思います。そして、絶対に諦めなかったのだと思います。なぜ諦めることなく突き進むことができたのかを想像した時に“諦められるはずがない！”と言い切れるほど当時から多くのアイデアがあったのかもしれないと考えました。夢が大きくなればなるほど夢が叶った時のイメージも大きいものになると思います。その中で何よりも大きいものは成功体験による『最高だ！』と喜ぶ自分の感情だと思います。もちろん夢破れた時のショックも大きいものになりますが、それこそ今回の言葉にあるように恥ずかしがることなく再挑戦していけばいいのだと思います。自分のこだわり、自分の夢に真っ直ぐでいたいものですね！